

<b>Title</b>	「課題、戸惑っていること」（第 15 回ピア・スーパービジョン報告）
<b>Author(s)</b>	木下，優輔
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.24No.3, 2015.3 :60-60
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=5279">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=5279</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

#### 「課題、戸惑っていること」 木下優輔

今回のピア・スーパービジョンでは、現在の業務内容の紹介、日々の業務の課題や問題点、戸惑っていること等を報告させていただいた。私は、大学卒業後、精神科病院に勤めている。約400床の病床数に対してソーシャルワーカーの数は、5名である。入院患者さんは、高齢で病状が慢性期の方が多くいる。主な業務は、外来通院の相談、入院前から退院後の生活に関するあらゆることに対する相談支援や患者さんとの面接、訪問、同行支援、関係機関とのサービス調整等であり、多様な業務内容・実践範囲である。業務の課題は、新規入院の連絡調整、様々な書類の作成等があり、患者さんへのかかわりの保障が難しい時もあることや日々の業務で自分自身の振り返りができずにいることである。今後は、かかわりの保障ができるように業務内容・体制の見直しや改善を職場内のソーシャルワーカー同士で話し合う機会を設けることや、業務においての悩み、思い、葛藤などにしっかり向き合い、自分自身の振り返りを行えるようにスーパービジョンを積極的に活用していきたい。

(文責：きのした・ゆうすけ 医療法人社団研精会 稲城台病院(精神科病院)医療相談室勤務。精神保健福祉士、2012年度聖学院大学人間福祉学科卒業)